

# 株式会社藤里開発公社の経営状況について

株式会社藤里開発公社の経営状況について、6月議会定例会で報告したので公表いたします。

平成30年度藤里開発公社部門別損益計算書 (H30.4~H31.3)

(単位：千円)

科 目	ホ テ ル	健康保養館	加工センター	白神山水 生産販売	本 部	合 計
売 上	77,109	27,884	25,489	94,495	0	224,977
加 工 手 数 料	0	0	8,023	0	0	8,023
指 定 管 理 料	0	20,711	5,442	14,905	0	41,058
売 上 計	77,109	48,595	38,954	109,400	0	274,058
期 首 在 庫	1,060	346	5,374	7,596	0	14,376
当 期 仕 入	28,818	6,932	10,610	21,544	0	67,904
期 末 在 庫	765	328	4,586	4,484	0	10,163
売 上 原 価	29,113	6,950	11,398	24,656	0	72,117
売 上 総 利 益	47,996	41,645	27,556	84,744	0	201,941
一 般 管 理 費	99,814	50,235	26,073	66,597	15,970	258,689
営 業 利 益	△51,818	△8,590	1,483	18,147	△15,970	△56,748
営 業 外 収 入	59,412	2,302	0	1,378	778	63,870
営 業 外 費 用	3,442	0	0	0	0	3,442
経 常 利 益	4,152	△6,288	1,483	319,525	△15,192	3,680
特 別 損 益	0	0	0	0	3,266	3,266
税引前当期純利益	4,152	△6,288	1,483	19,525	△18,458	414
法 人 税 等	0	0	0	0	358	358
当 期 純 利 益	4,152	△6,288	1,483	19,525	△18,816	56

※6月議会定例会で報告した資料を編集して作成しています。

## ●ホテル（売上高77,109千円、前年度比99.5%、404千円減）

4年ぶりに130名の婚礼を受注し、新郎新婦や関連業者スタッフとの打合せを密に行い、滞りなく実施することができました。観光シーズンに売上を確保することができましたが、オフシーズンの減収があり、前年比404千円の減となりました。

## ●健康保養館（売上高27,884千円、前年度比103.1%、832千円増）

利用者の増加促進対策としてホテルの宴会と入浴をセットにした「日帰り入浴プラン」の販売強化やカラオケと入浴をセットにしたプランの販売、また、11月より無料送迎バスを富根地区からの始発に変更する等、利用者の獲得に努めた結果、前年比832千円の増となりました。

## ●加工センター（売上高33,512千円、前年度比74.7%、11,335千円減）

「山芋皮むき」事業が委託元の事情により受託数量が減ったことで、前年比11,335千円の減となりました。今後は「ヨモギ、笹の葉」の本格加工生産の実施を予定しております。また、新たな販路として「道の駅かみこあに」「道の駅ふたついで」「道の駅おが」等沿線の「道の駅」での委託販売を開始し、今後の更なる売上を目指します。

## ●白神山水生産販売（売上高94,495千円、前年度比90.5%、9,940千円減）

昨年6月の集中豪雨により製造ラインが被害を受け、町を挙げての協力をいただき復旧に取り組みましたが、翌7月中は製造が出来ず、前年比9,940千円の減となりました。今後は、大口取引の新規開拓に加え、小口取引についても積極的に開拓したいと考えています。また、秋田県HACCPの更新も完了したことから、この点についてもアピールしながら営業展開をして参ります。

## <指定管理料について>

開発公社の運営5部門のうち、健康保養館（共同福祉施設を含む）・加工センター・白神山水の館は町有施設であり、町は開発公社と指定管理協定を結び、管理運営を委託しております。健康保養館は、低料金で町民等の健康増進を図るもので、加工センター及び白神山水の館は、特産品開発や資源を活用した地場産業の振興を目的として運営されております。

これらの施設の維持管理には、保守料や維持修繕費、水道光熱水費や管理のための人件費が掛かるため、町では、施設の健全な運営が図られるよう、こうした維持管理費に要する経費の1/2相当と人件費の一部について、一定のルールにより指定管理料として支払っております。

こうしたことから、指定管理料は赤字・黒字で増減するものではなく、年度当初に契約した協定に定める金額を基準として支払いしており、計画目標により売上げを伸ばして黒字化を目指すこととしています。